障

害

控

除

対

象者

認

定

を

交

付

し

7

LI

ま

व

方介態

護区

5 分

にが

認要

定介

さ護

す

<

市

役

護

4 所

9 介

1

まあにし

ح

意こ態を願と区満

いが分た

② ①が害県こ象要定 日効該れ1要あ者民と者件を65

ま期当てか介り控税に認に受歳

間年いら護ま除のよ定該け以

がにる要状すの申り書当て上

場

合 障

。対告確のしいの

とす申付害方

る際や受

象を定交障る方

なる告を者は要

除の※

りよてたを方各で各

がますので は、できれて を がでした。 できれて でもれて でもれて でもれて でもれて でもれて でもれて でもれて でもれて でもれて にもれて でもれて にもれて にもれ

そ記だ手手

ごなの条さ帳帳

注る状件いに

前くの者

控

市け除次護

る対の認

を

よお

り持

控ち

介

者

手

帳

を

お

持

有

間

が

る

あお

12定

月の

31有

険

4

4 は

3

方 7

原発事故による損害賠償請求に伴う説明会

## 損原 害発 賠事 償故 請に 求よ にる 伴 う 説 明

家

庭

教

育

演

会

い農の対被 業 で象害原 、にを発 の損説受事 方害明け故 はごは言いたという。これにより、これにより 席求催者農 くさしの作 だれま方物さるすをの

損ル

害门

分プ

はな

対ど

象

象り農 ま被ど損 。れ風賠

と対室式業 応が会者説と損作ま さ窓社の明な害物たい す

対と 者ろ せ口福方会りをな てを島にに 市午1 中後月い設原は出すらの害 央 1 25 た け 子 、席 公時日だて力東京 民30(水)き、補京 ま個償電な 館分 5

た評償費被請 用害求 別相力い もにに に談株農 対よは 問い来の※と一※ 4 詳 受 0 ☎福東いし場で駐な括既内引風 4 し午付 4 0 島京合まく、車り請に農停評 1 原電わすだ乗場ま求 J 業止被 2 子力せ ° さりにせし A 者な害 い合限んたグ

わり

せが

のあ

う う え ご う ま ご

ま

す

ょ

開

0 力(株)先 補 9 償 2 相

6 談

4

室

3く前時 は 9 間 、時 1 4 市 5 0 役 午 2 所後 へ農 9 政時 課

をい 受 控 けえ た 会 市取

受とます重の家 る要理族市た性解の教 す めをを意育 再深義 講認めや員 演識 会す家割で をる庭には 開機教つ 催会育い家

しとのて庭

1 月 31 日 (火)

午会午 9事9 時 時 55 30 分 分 5 5 9 10 時 時 55

対と こ午 ・民象ろ前演前行前付き 10 市時 中与 央11 公時 民30 館分

講

つ児市 な小人 ど学保 生育 袁 中児 学 • 生幼 を稚 も園

> **\* \*** ラ子ン同 定員 1 8 ア 20 ょ る 保

1 し望 歳込者 以みは 上が 1 の必月 お要11子。日 子 日 さたま

草 大学 木園 大み学 わ教

講

演

歩 S か ₽ だ相から と | 50 O 年 S Ø 0

4 教申 委込 員み無ら 1 4 6 会詳 育く 課は

んだで保室ボ親 に 月 り ン 四 市 ヴ 。 テ 席 ・ \* 育

師にした育有り限、由柔り 限 植る 氏授

分

3育し用み 一子題 会な料学教た社ど ん育ち

4 市

## 推進にかかる文部科学大臣表彰 れか受実動、ら賞住世平



表のしま子成 23 に年 さ域し 中度優れた「単年度優れた「単年度優れた「単年度優れた「単年度を表別である文部科学を表別である。 学隊工科地 校活ク学域 ト大に 接活による 委彰学 動じ を校っ がめ員 日会 支 評 育 援 価 て! さろが 活

渡最小 実 邉 優 学 住 秀校小駿賞低 学佑 学 校さ 年 3 ん 0) 年 部

中最小 八野優学 八街北小学校: 関節さん 関係賞 の! 6 部 年



板最中 八街北中八街北中八街 桃子学校の部 中学校2年) 子さん 部

## 中 `境将 りと 学 毎をよ保来 優秀作品15点で **4 3** しく は 1 点が選ばれまれ 優秀作品 3 点の応募がある 4 市 0 役 6 所 環 。境 し点、 り、

## 環 全 术 8 ス を 展 示 ま d ル

年目り全を に近対うの なす児コ 童 3と識生1 を徒ル 度る高のは、

今行的身に担こ 7 市い平もる 内ま成の意 す <sup>°</sup>年す

地球の糸录を育てよう